

図書館だより

平成24年12月号

発行：せたな町情報センター
瀬棚図書センター
大成図書館

<クリスマス会のお知らせ>

※日 時 12月16日(日) 10:30~

※場 所 大成図書館児童室

※内 容 クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせやツリーの飾りつけ、クリスマスケーキ作りなど、みんなで楽しい時間をすごしたいと思います。ケーキ作りでは作業がありますので、親子で参加してお手伝いしていただければ、とても助かります！！

☆☆たくさんの参加お待ちしております☆☆
(材料費一人200円必要となります)



<平成24年度児童・生徒の読書感想文を募集！>

子どもの読書普及を図る目的で発行する読書感想文集の原稿を、町内小中学生を対象に募集します。

応募に関しては、各学校を通して児童生徒にお知らせしますので、多数応募くださいますようお願いいたします。

学校から提出された原稿については、1冊の読書感想文集として、応募いただいた皆様に配布いたします。

<各施設の催し>

◆情報センター／クリスマスのつどい

- ・日 時：12月22日(土)午後2時～午後3時
- ・内 容：読み聞かせの後にケーキを食べましょう！（一人200円）

〔 図書館の本の返却についてのお願い 〕

図書館から本を借りて、期限内に返却されない方が多くみられます。理由があり返却が遅くなる場合は電話で連絡くだされば延長できますので(新刊書・予約が入っている本は除きます)返却期限の確認をお願いします。図書館では年間30冊くらい返却されない本があります。声をかけたりしていますが返却されていません。これからは少し厳しく返却を求めたいと考えております。図書館の本は町民の税金からでています。大切な本ですので、利用する方も大切に扱ってほしいと願っています。※本を無くしたり破損された場合は弁償していただきます。

<わたしのとびっきりの一冊>

図書館に勤務して8年目を迎えました。この間、多くの本との出会いがありましたが、とても感動した本、おもしろかった本などもたくさんありました。その一部をご紹介します、ぜひ皆さんにも手にとっていただきたい本をご紹介します。(大成図書館 佐藤)

- ◆「母性」・湊 かなえ 著…母と娘。二種類の女性。美しい家。暗闇の中で求めていた、無償の愛、温もり。ないけれどある、あるけれどない。私は母の分身なのだから。母の願いだったから。心を込めて。私は愛能う限り、娘を大切に育ててきました。そしてその日、起こったこと。
- ◆「パンやのろくちゃん」・長谷川 義史 著…商店街に住むパンやのろくちゃんは、幼稚園に通う元気な男の子。やさしい家族に囲まれて暮らしています。泣いたり、笑ったり、しょんぼりしたり、困ったり、ろくちゃんの楽しい毎日のお話を4話収録。他3冊入ってます。

<12月の各施設の開館情報>

せたな町情報センター (北檜山区北檜山266番地 TEL 0137-84-5342)

- ◆開館時間：10時～18時 (※11月から閉館が18時になります)
- ◆休館日：12月3日(月)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・31日(月)
(年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く)

瀬棚図書センター (瀬棚区本町728番地2 TEL 0137-87-3901)

- ◆開館時間：10時～17時 (年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く)
- ◆休館日：12月3日(月)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・31日(月)

大成図書館 (大成区都386番地 TEL 01398-4-6161)

- ◆開館時間：10時～17時 (正午から午後1時までは休憩時間)
- ◆休館日：12月31日(月) (年末年始及び図書整理日等の臨時休館日除く)

今月のおすすめ本

大成図書館

- ◆『ブルーマダー』 菅田 哲也 著 (一般書)
映画「ストロベリー・ナイト」で好評の、姫川玲子シリーズ。
- ◆『スタート』 中山 七里 著 (一般書)
主人公は映画界の巨匠、大森宗俊。傑作は完成するのか？注目の著者が本格ミステリと作品づくりのドキュメントを融合した意欲作。
- ◆『64(ロクヨン)』 横山 秀夫 著 (一般書)
警察職員二十六万人、それぞれに持ち場があります。刑事など一握り。大半は光の当たらない縁の下の仕事です。神の手は持っていない。それでも誇りは持っている。一人ひとりが日々矜持をもって職務を果たさねば、こんなにも巨大な組織が回っていくはずがない。D県警は最大の危機に瀕する。警察小説の真髓が、人生の本質が、ここにある。
- ◆『彷徨い人』 天野 節子 著 (一般書)
石神井台警察署の清水刑事は、ある警察署の受付で見覚えのある女性と出会う。彼女は、清水が担当したひき逃げ事件の被害者遺族だった。親友が行方不明のため、捜索願を提出しに来たという。「不倫の果ての失踪に違いない」と担当刑事は言うが、清水は強い違和感を覚える。そして、ひとり捜査を始めるが…。大切な人を守りたい—そう願う男がいた。人生をやり直したい—そう悔む女がいた。二人が出会った時、運命の歯車が狂い始めた。
- ◆『老いかたレッスン』 渡辺 淳一 著 (一般書)
年齢をとることは止められない。躰の衰えは自然の摂理。でも、だからこそ、できることがある。それが「老活術」だ。邪念で若返ろう。自伝を書く秘訣。新しい名刺の使い方。老いても女性とつきあおう。定年後、老後こそ、外へ出よう。
- ◆『自殺の国』 柳 美里 著 (一般書)
猶予は2日。決行日は6月19日神奈川ですーネットに飛び交う「自殺」「逝きたい」の文字。電車の中、携帯電話を手にその画面を見つめる少女、市原百音・高校一年生。形だけの友人関係、形だけの家族—「死」に魅せられた少女は、21時12分、品川発の電車に乗って、彼らとの「約束の場所」へと向かうのだが…。柳美里、2年半ぶりの最新小説。
- ◆『ハートに火をつけろ 上』 岬 著 (一般書)
高校2年生の道子は、2次元の世界をこよなく愛するチョーオタク女子。友達ゼロ。恋なんて、彼氏なんて、もつてのほか。そんな道子にある日、声をかけた男—その名も水島クララ(注:学校1のモテ男)。みんながオタクの道子を「気持ち悪い」と陰口をたたく中、クララだけはなぜか近づいてきて!?自分とは釣り合わないオシャレボーイのクララを道子は頑なに避け続けるもぐいぐい距離を詰めてくるクララ。戸惑う道子は考え込む…。
- ◆『七緒のために』 島本 理生 著 (一般書)
主人公の私=雪子は中学2年生。以前通っていた女子校に馴染めず、東京の中学校へ編入してきた。そのクラスで出会った本好きの少女・七緒に誘われて美術部に入り、予測のつかない彼女の言動に翻弄されながらも、きらめくような日々をともに過ごす。しかし次第に七緒がクラスから浮いていること、その言葉にウソが混じっているらしいことに気づき始める。美術教師の突然の死やカウンセラーとの関わりの中で、ふたりが共有した真実と嘘の間で揺れ動く私。やがてある事件を経てふたりは疎遠になっていく…。
- ◆『キミのとなりでシリーズ! 勇気を出して』 美嘉 著 (児童書)
“勇気・元気・幸せ”をもらえる、美嘉さんに届いた“恋の相談”のお手紙をもとに作られたコラボ絵本!美嘉さん書き下ろしの3つの物語 (他3冊入っています)
- ◆『パンやのろくちゃん』 長谷川 義史 著 (児童書)
ろくちゃんは電車に乗って、いなかのおばあちゃんの家へ出かけます。車中で人のいい車掌さんや楽しい人々との出会い、そして、不思議な出来事が…。旅の終わりには、ちょっぴり成長したろくちゃんに出会えます。
- ※発売日前・予約中のものもありますので、図書の有無については各施設にご確認下さい

<情報センター>

- ◆『空よりも高く』 重松 清 著 (一般書)
僕は廃校が決まった東玉川高校最後の生徒。平凡な高校生として、それなりに楽しくやっていたのに、赴任してきた熱血中年非常勤講師・ジン先生のせいで調子がくるった。通学路で出会ったピエロさんの大道芸に魅せられた僕は、ジン先生の持ち込んだ迷惑な「ウイルス」に感染して…。思わぬところから転がり込んだ「セッション」、そして明らかになる、ジン先生のトントマー期生の、過去。平凡な高校生の僕の背中を押してくれたのは、通学路の「ピエロさん」だった——。友情、受験、恋、夢……イマドキでひたむきな青春賛歌。
- ◆『北斗』 石田 衣良 著 (一般書)
幼少時から両親に激しい暴力を受けて育った端爪北斗。誰にも愛されず、誰も愛せない彼は、父が病死した高校一年生の時、母に暴力を振るってしまう。児童福祉司の勧めで里親の近藤綾子と暮らし始め、北斗は初めて心身ともに安定した日々を過ごし、大学入学を果たすものの、綾子が末期癌であることが判明、綾子の里子の一人である明日実とともに懸命な看病を続ける。治癒への望みを託し、癌の治療に効くという高額な飲料水を購入していたが、医学的根拠のない詐欺であったことがわかり、綾子は失意のうちに亡くなる。飲料水の開発者への復讐を決意しそのオフィスへ向かった北斗は、開発者ではなく女性スタッフ二人を殺めてしまう。逮捕され極刑を望む北斗に、明日実は生きてほしいと涙ながらに訴えるが、北斗の心は冷え切ったままだった。事件から一年、ついに裁判が開廷する—。
- ◆『64 (ロクヨン)』 横山 秀夫 著 (一般書)
警察職員二十六万人、それぞれに持ち場があります。刑事など一握り。大半は光の当たらない縁の下の仕事です。神の手は持っていない。それでも誇りは持っている。一人ひとりが日々矜持をもって職務を果たさねば、こんなにも巨大な組織が回っていくはずがない。D県警は最大の危機に瀕する。警察小説の真髓が、人生の本質が、ここにある。
- ◆『くまのがっこう ジャッキーのクリスマス』 あいはら ひろゆき 著 (児童書)
ジャッキーはクリスマスの朝にひとり暮らしのおじさんと出会い、お家に招待されました。お家には、今はもういない、ジャッキーと同じくらいの女の子の写真がありました…
- ◆『マジックアウト(2) もうひとつの顔』 佐藤 まどか 著 (児童書)
少女アニアの運命がふたたび動きだす…わたしはいったい…何者？絶望という闇に光をあたえたひとりの少女、アニア。そして、封が解かれた国にふたたびせまりくる闇。異国へわたるアニアを待ち受ける運命とは…。

<瀬棚図書センター>

- ◆『北斗 ある殺人者の回心』 石田 衣良 著 (一般書)
孤独な殺人者ができるまで。衝撃の青春小説両親から壮絶な虐待を受けて育った少年、北斗。初めて出会った信頼できる大人を喪ったとき、彼の暴走が始まる……。孤独な若者の内面に深く切り込む、著者渾身の長編問題作。
- ◆『ソロモンの偽証 第三部 法廷』 宮部 みゆき 著 (一般書)
この裁判は仕組まれていた!? 最後の証人の登場に呆然となる法廷。驚天動地の完結篇!事件を覆う封印が次々と解かれてゆく。告発状の主も、クリスマスの雪道を駆け抜けた謎の少年も、死を賭けたゲームの囚われ人だったのだ。見えざる手がこの裁判を操っていたのだとすれば……。驚愕と感動の評決が、今下る!
- ◆『だるだるダディーとゆかいなかぞく』 大島 妙子 著 (児童書)
だるまん十人家族がピクニックに出かけます。絵の中には 10 の数あるものがいっぱい隠れています。絵探しをしながら数を学びましょう。
- ◆『からっぽのくつした』 リチャード・カーティス 著 (児童書)
クリスマス・イブです。ワトソン家の人びとはみんな「今年はいいい子にしてたかな?」と、たずね合っています。サムとチャーリーのふたごの姉妹は心のなかでちょっと心配に思っていました。なぜって、サムはいいい子ですが、チャーリーはいたずらっ子。サンタさんだって、だれにも笑顔ってわけにはいきません。「どうしようかな?この子のプレゼント…」心あたたまる、だけど、ちょっぴりドキドキするクリスマスのお話。
- ◆『マジック・ツリーハウス(33) 大統領の秘密』 メアリー・ポーブ・オズボーン 著 (児童書)
こんどの冒険は、19 世紀のホワイトハウス行き、リンカン大統領に〈鳥の羽根〉をもらってこること。ところが、大統領は忙しすぎて、近くへ行くこともできない。そこへ、ウィリーとタッドというふたりの少年が現れ、大統領に会わせてくれるというが……。